

# KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

APRIL  
2020 **SPRING**  
No.267



関西学院大学



## 起業という選択肢

人生100年を支えるアントレプレナーシップ

## 学長のポケット

学長・村田 治



## 失敗を恐れないチャレンジ精神を

**今** から約30年前、バブル崩壊直前の1989(平成元)年における企業の時価総額世界ランキング上位10社には、日本企業が7社ランクインしていましたが、2018(平成30)年時点では、トップ10に日本企業は1社も入っていません。

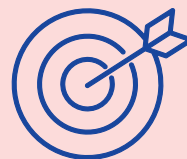
なぜ、このようになったのでしょうか。バブルの崩壊も一つの要因であったかと思いますが、根本的な原因は日本企業にイノベーションを起こす力がなくなったからと考えます。高度成長期の大量生産時代には、質は高いが均質の個性のない人材が求められましたが、これからの世界では、尖った個性とんが的な人材が求められます。言い換えれば、イノベーションを起こすアントレプレナーシップ(起業家マインド)を持った人材です。起業をする、しないにかかわらず、新たな試みに挑戦する人材が求められます。新しい試みへの挑戦は失敗する可能性も大きいですが、あえて、失敗のリスクを受け入れて挑戦するマインドが重要だと考えます。また、失敗しても立ち上がるタフネスも必要になります。若い皆さんには、失敗してもやり直すチャンスが無限にあります。一度しかない人生です。ぜひ、自分の心に従って自分の夢や志に挑戦してほしいと思います。

- 1 学長のポケット
- 2 特集 世界市民を育む、学びがある。  
起業という選択肢  
人生100年を支えるアントレプレナーシップ
- 9 次代を担うあなたへ。  
オリックス株式会社 シニア・チェアマン  
宮内 義彦さん
- 11 ひとひと
- 13 Research & Research  
法学部 望月 康恵 教授
- 15 Go Global!  
南 雄太さん(法学部3年生)  
My favorite KG  
シュミット タイソン ケネスさん  
(カナダ)
- 17 Moment
- 19 TALK DEEP  
~地方創生と大学の可能性~
- 25 KG CLUB  
体育会 ボクシング部
- 27 学院通信  
関学カプセル  
KGグルメ
- 31 数字でみる関学  
関西学院大学の公式SNS
- 32 世界の街角から  
ロシア 樋口 祥子さん
- 33 Libraring  
大学図書館を活用しよう!
- 34 聖書に聞く  
院長 舟木 譲

# 起業という選択肢

## 人生100年を支えるアントレプレナーシップ

人生100年時代といわれる現代、大学卒業から定年まで勤め上げる終身雇用は終わりを迎え、転職や就職後の学び直しが当たり前になりつつあります。同様に、今後、人生における選択肢の一つとなり得るのが「起業」です。関西学院大学における多様な学びや実践の場の紹介、在学中の起業家(アントレプレナー)や起業関連講座受講生のインタビューなどを通して、大学時代に起業について学ぶ意義や起業家精神(アントレプレナーシップ)を身に付ける重要性を探ります。



### アントレプレナーシップ

【 entrepreneurship 】「起業家精神」を表

す言葉で、その素質として「新たな価値創造」、「組織運営」、「リスクテイク(自己研鑽・意欲)」の大きく三つに分けて捉えることができる。「新たな価値創造」とは、チャレンジ精神や常識にとらわれない姿勢、イノベーション力など、「組織運営」とは、リーダーシップや推進力、周りの人を巻き込んで人間関係を構築し広げる力など、そして、「リスクテイク(自己研鑽・意欲)」とは、失敗を恐れない姿勢や情熱、自己に対する競争心や目標達成への意欲などを表す。

全ての起業のキーワードは、「役立つ(for Service)」であり、起業のアイデアから実行までにおいて、目的を達成するために起業家は「研鑽(Mastery)」します。したがって、関西学院における起業家は関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”の体現者であると捉えることができます。



社会連携コーディネーター  
木本 圭一・国際学部教授



# ロボットを作る側と使う側をつなぎ 課題を解決するサービスを提供



大阪の家電量販店の  
ロボットコーナーを  
プロデュース

## 小学生で抱いた起業の夢 高校3年生で実現

2月中旬、長安さんの姿は大阪駅近くにありました。人の波から頭一つ抜け出す長身を生きかし、関西学院高等部時代はサッカー部のゴールキーパーとして活躍。その部活動の帰り道、スマートフォンで見た人型ロボットの映像に衝撃を受けます。

「ロボットが普及すれば、きつい、汚い、危険といわれる3Kの仕事がなくなり、人はクリエイティブな仕事に移行することで人間としての価値がより高まる。ロボットを仲介役に人と人の関係も円滑になるだろうなと思いました」

高校1年生の6月のこと。人とロボットが共生する未来を想像してワクワクしたといいます。小学生の頃に孫正義氏に憧れ、おぼろげに抱

特定の  
住居を持たない  
アドレスホッパー  
です

いていたアントレプレナーへの夢が、はつきりと焦点を結んだ瞬間でした。

時間を見つけてはロボットや経営の知識を深め、部活動引退後の2017年2月に会社を設立しました。依頼者の希望を聞いて提案し、その内容をエンジニアに伝え、検証過程を経て納品まで。ソフトウェアの開発以外は全て自身が担当します。

「ビジネスにするには、理系の人間が多い分野にこそ、文系が入り込むチャンスがあると思っています」

## 人材が不足する介護施設に 夜間見守りロボット

設立から約1年後、ロボットを自律走行させる技術を日本で初めて開発すると、ソフトバンクが営業パートナーに。仕事が一気に広がり

ました。

同時期、2年間

の休学届を提出。その決断に迷いはなかったと言います。「学生で起業し、失敗したとしてもリスクはありません。むしろチャレンジしたことが評価されるくらいで、挑戦しない方がリスクです」

描く未来図に向け、まずアプローチしたのが人手不足に悩む介護業界です。ニーズを探るために2週間、複数の介護施設で観察を続けたところ、最も長時間の業務で、各施設が共通して行っていたのが夜間の見守りでした。



X-mov Japan株式会社  
代表取締役社長／CEO

長安 成暉さん  
(商学部4年生)



介護施設で  
夜間見守りロボットの  
実証実験を実施

2019年9月、2人目のアドバイザーとして委嘱されました。



開発中の様子

**東** 京と大阪を月に半々で行き来し、さらにビジネスチャンスを求めて海外へ。ロボットのソフトウェアを開発するX-mov Japan株式会社社長、長安成暉さんはキャリアケース一つで各地を軽やかに飛び回ります。関西学院大学商学部在籍ながら2年間を事業に専念し、今春、復学。人とロボットが共生する社会の実現を目指す挑戦は、新たなステージを迎えました。

学生時代の  
リスクは挑戦  
しないこと



関西学院大学で、  
文系学生を対象に  
プログラミング講座を開催



そこで、夜間見守りロボットのソフトウエアを開発。アプリを入れたロボットをエレベーター前や廊下に設置すれば、徘徊者を検知して通知を送ります。

「ロボットは汎用性が高いので、幅広い業界を見ることができているのが強み。そこで見つけた課題に対し、ロボットを活用して何ができるかを考えてアイデアにつなげます」

2018年春に完成すると40件の申し込みが殺到し、今も対応に追われているそうです。

柔軟な思考力を養う  
人材の育成事業にも着手

「ロボットを作る側と使う側をつなぎ、ニーズや課題解決のためのサービスの提供へ。業務内容は徐々に変わっていきます。その一例が、日本血液学会から依頼された「ロボットを活用して未来感を出した学会」の開催です。多言語での会場案内やロボットセラピー、多数のメーカーの製品を集めた展示などで希望に応えました。

また世界では、各国の事情や現状により異なる特性を持つロボットが生まれていることに着目し、国を超えた解決の道を探ります。すでに米国のロボットを物流現場に、中国の配膳ロボットを飲食業界に導入して国内の人材不足に対応。「数十年後、高齢社会を迎えた中国では日本の介護ロボットが活躍するはず。これからは、社会や世界を変えるような大きなやりがい求めて動きたいと思っています」

一方で、ロボットが普及した後の社会も見据えます。「クリエイティブな仕事に必要な、柔軟な考え方ができる人を育てる教育が大切」と、4月には、ロボット、3Dプリンター、ドローンをセットにした学童保育向けの学習プログラムをスタートさせます。

「起業で大切なのは志と軸。僕の場合は、高校時代に描いた未来を実現するために、ロボット分野から課題を解決していくことです」とぶれない長安さん。数々の重責を背負ったまま始まる2年ぶりの学生生活にも、「ビジネスと学業、どちらもやることで見える世界があるはず」と、ポジティブ思考で臨みます。

オンラインで秘書業務を代行するサービスを活用。時間短縮と業務効率化を図っています。

関学ジャーナルの取材があった1週間のスケジュール

	2月16日 日曜日	2月17日 月曜日	2月18日 火曜日	2月19日 水曜日	2月20日 木曜日	2月21日 金曜日	2月22日 土曜日
08:00							
08:30							
09:00							
09:30							
10:00							【移動】飛行機 伊丹-仙台
10:30						【情報交換】@神戸 with ロボット工学専攻の院生 農業ロボットについて	
11:00		【打ち合わせ】@東京 ロボット活用レクチャー	【資料作成】 打ち合わせ資料作成				
11:30					スポーツジム @神戸		
12:00							
12:30							
13:00							
13:30					【移動】飛行機 羽田-伊丹		
14:00		【移動】電車 東京-横浜	【打ち合わせ】@品川 ロボットメーカーとプログラミング教材制作に関する打ち合わせ				
14:30							
15:00					【視察】@大阪 スタートアップ系イベントに顔出し		
15:30					【移動】電車 神戸-播州赤穂		
16:00		【打ち合わせ】@横浜 商社社長と新規取扱ロボットについての動作確認、料金交渉、商流についてディスカッション	【事務作業】 経理、各種予約、申請書類 etc..	【取材】@大阪 KGジャーナルの取材			
16:30							
17:00							
17:30					【打ち合わせ】@赤穂市役所 市政特別アドバイザーの関係		
18:00							
18:30							
19:00							
19:30		【ディナー】@新宿 ドイツでサッカー選手をしている同級生と情報交換	【資料作成】 ロボットシステム開発案件の仕様書、見積書作成	【事務作業】 メール、経理、各種予約、申請書類 etc..			
20:00	【オンラインMTG】 with エンジニア 2人 介護向けアプリの次期アップデート内容協議						
20:30	【オンラインMTG】 with エンジニア 自社HP改修の詳細打ち合わせ						
21:00					読書	ディナー	【ディナー】@気仙沼 現地でゲストハウスを運営している方々、地元の方々、ゲストハウスに宿泊される遠方からの観光客と意見交換

空白の時間は主にメールやチャットでやり取り、電話はほとんど使いません。

赤穂市の出身。実家には年に数回、衣替えに帰ります。

【移動】@宮城 気仙沼、南三陸、石巻

# 起業について学ぼう！

## 関西学院大学におけるアントレプレナー育成

### 関

西学院は、学院創立150周年にあたる2039年を見据えた将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」を2018年3月に策定。卒業生が「真に豊かな人生」を送るために「質の高い就労」を最上位目標に掲げ、その実施計画の1つとして「アントレプレナー養成のための各種施策の実施」を設定しています。また、2039年までにアントレプレナーシップに基づいて自ら

事業を起こし株式を公開（IPO）する出身者を100人輩出することを目指し、「IPOアントレプレナー100人創出プロジェクト」を2016年にスタート。株式会社ウィルフと連携して開講している「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」なアントレプレナー育成のための環境やプログラムを多彩に整え、研究推進社会連携機構「社会連携センター」が中心となって提供しています。



### 第4クール

#### 卒業後に取り組む事業プランの作成

STEP 1  
自己棚卸し  
アイデア出し



STEP 2  
事業プランプレゼン



STEP 3  
講師や受講生から  
フィードバック



STEP 4  
最終プレゼン



卒業 「踏み出せば、起業できる」  
状態が実現

1.5カ月!



プログラムの詳細はこちら→ [Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY](#)について



## 起業経験を積み、経営スキルを体得する特別講座

# Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY

起業に必要な知識やスキル、資質や実践力を身に付けることを目的とした6カ月間のプログラム。机上での学習だけでなく、実際に事業を運営する「学習×実践」により「本物の起業体験」を積んでいきます。

約1.5カ月間を1クールとする4クールに分けられ、毎週1回の講義を受けます。第3クールまでの各クールでは、受講生自身が

社長となり事業プランを考え、アントレプレナーなどからフィードバックを受けることでプランを磨き上げ、その後、実際に利益を上げることを目標に起業します。第4クールでは、卒業後に自ら取り組みたい事業プランを作成し、講師や受講生からのフィードバックを経て最終プレゼンを行います。卒業後、「踏み出せば、起業できる」状態を実現させて修了となります。

### 第1クールから第3クールまで 経営スキル学習・起業体験



#### STEP 1 経営スキル学習

「起業」に必要な経営スキルを  
ケーススタディ形式で学習



#### STEP 2 事業プラン作成

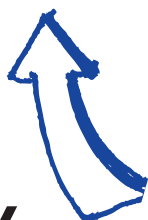
実施する事業プランを作成

#### ポイント

第1クールから第3クールまでに立ち上げる事業は「インターネット事業」「対面販売事業」「社会課題解決事業」とそれぞれ異なります。多様なビジネスの立ち上げと運営を経験することで、卒業後の事業の成功確率を高めていきます。

#### STEP 5 利益ランキング発表・振り返り

事業運営終了後、利益ランキングを  
発表。今回の事業の反省点、  
次に生かせる点などの振り返り



#### STEP 4 事業実施

プランに基づいて事業を実施



#### STEP 3 アントレプレナーなどから フィードバック

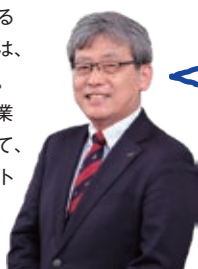
作成したプランに対して、  
アントレプレナーなどから  
フィードバックをもらい、さらに磨き込む



1.5カ月 (STEP1からSTEP5まで) × 3クール = 4.5カ月!

「起業なんて、就職するから関係ない」と思っている人はいないですか? 昨今の急速な技術革新をてこにして、新たなビジネス・サービスが多くの産業に起きています。今や、どの企業も新たなビジネスの種を見つけ、どう育てるかということに真剣に取り組んでいます。「アントレプレナー養成」がテーマですが、「どのような企業に勤めたくとも必要とされる新たなビジネスへのセンスを磨く」のが本講座の目標です。そのセンスは、会社を起こそうとしている人はもちろん、就職する人にも必要なのです。

講座では、ビジネススキルに関する座学だけではなく、受講者が起業を実践し、それに対して評価が行われます。学んだ知識を、実践で試して、評価を受け、さらにブラッシュアップしていきます。カリキュラムはタイトですが、生きた知識と実践力が身に付きます。



#### こんな人にお勧め!

- ▶ 生き抜く力を身に付けたい!
- ▶ ビジネススキルを身に付けたい!
- ▶ 自分が起業に向いているか確認したい!
- ▶ 将来、アントレプレナーになりたい! など

社会連携コーディネーター  
木本 圭一・国際学部教授

# ここがよかった! / STARTUP ACADEMY

## 受講者の声

### 起業へのハードルが低くなり これから3年間が楽しみに

大嶋 さちさん  
(総合政策学部2年生)  
第3期修了生

**高**

校生の時にオリジナルTシャツ作りに挑戦し、ブランドの立ち上げなど起業に興味を持ちました。STARTUP ACADEMYを受講したのは1年生の夏から冬にかけて、他の人とはちょっと違うことをしたくて一歩踏み出しました。

周りほとんどが先輩で、熱い気持ちを持って何かに打ち込んでいる人たちに最初は圧倒されました。そのうち思いをぶつけ合える環境が居心地よくなり、積極的に意見を言えるようになりました。部活動をしていない私にも先輩や仲間ができたことがうれしかったです。

第1〜第3クールは、広告の

発注主を見つけ、デザインを芸大生に依頼して完成させるという仲介事業を続けて、利益も出しました。その過程で、私は自ら作り出すことができたのだと改めて気付きました。第4クールは、大好きな映画と三田の活性化を組み合わせた「三田市×ミニミニティーンズ」事業に変更。三田駅前を会場に映画祭やマルシェなどを行う大規模なもので、先生から「小さくてもいいから、一つずつ始めては」と意見を頂き、まずはキャンパスでの映画祭



を目指しています。

必修科目が多くて動けなかった分、パワーポイントやエクセルを使って企画書や契約書などの資料作成を担当し、それが自分の強みだと気付きました。また、妥協することなく、やりたいと思うことを突き進めていくプロセスをしっかりと学べ、「難しそう」といった起業に対するマイナスな考え方が払拭されました。私にもできるのだとハードルが低くなり、これからの3年間、何をしようか楽しみにになりました。



### 高い志を持つ学生たちと共に 起業について論理的に学ぶ

株式会社ライズアース  
代表取締役  
北森 聖士さん  
(商学部4年生)  
第1期修了生

**高**

校3年生の頃からさまざまな事業を立ち上げてきましたが、起業について論理的に学んだことがなかったため、STARTUP ACADEMYで学ぶことで事業の成功確率を上げることができると思い、受講しました。

それまでは自分の勘を頼りに起業してきました。講座を通して事業を構造化・可視化することで、収益を得られる根拠を持つことができ、自分が次に取るべき行動が明確になりました。資料作成や人前でのプレゼンテーションなどの経験も大きなプラスになりました。起業したいと思う学生には当

然ですが、行動を起こさなければ何をしたらいかが分からない、社会人になってから活躍したいと思う学生にもお薦めの講座です。その後の事業を見る視点が変わりますし、同じように高い志を持つ学生と出会い、共に学べる経験は大きな財産になると思います。

弊社は「LIVE WHAT YOU WANT」というビジョンのもと、「自分の可能性を最大限広げられる社会の創出」を目指しています。タレントだけでなく弊社に関わってくれる全ての人材が自分の可能性を広げられる好循環を生み出していきたいと考えています。

株式会社  
ライズアース  
ホームページ  
↓



受講中の2017年12月に株式会社ライズアースを起業し、ライブ配信やSNSを活用したタレント育成・マネジメントを行うプロダクションを運営。「タレントとして活躍するには長期間のレッスンが必要」という従来の概念を覆し、「タレントの卵」と呼ばれる段階からファン獲得とタレント自身の収益化を実現させ、現在は約300人のタレントを管轄する。大学などでの講演やメンターとしての学生起業支援も行う。



### 顧客が求めているものは何か 徹底的に考えるように

株式会社  
リクルートキャリア  
半井 翔汰さん  
(2019年経済学部卒)  
第1期修了生

**在**

学中は「将来は起業したい」と漠然と考えていましたが、何から始めればいいのか分からない状態でした。そんな時にSTARTUP ACADEMY開講を知り、起業に必要な考え方や起業して自分が「やりたいこと」が分かるのではと期待して受講を決めました。

しています。次に、「まずやってみること」の大切さです。講座で三度の事業立ち上げを経験し、一定の分析を基に仮説を立て、アクションを起こし、行動の中で修正するという基本行動が身に付きました。目標達成に向けて走りながら軌道修正するこの力は、今も役立っています。

講座で学んだことは大きく二つ。第一に、「顧客の悩みは何か。それは既存の手段で解決できないのか」を常に問われ、「顧客が求めているもの」を徹底的に考える習慣が身に付きました。どんなビジネスにおいても、この考え方が最も大切だと痛感

「知っていること」と「できること」の間には雲泥の差がありますが、この実践的な授業を受ければ、自分が「できること」と「できないこと」が明確になります。「いつか起業したい」と思っている方こそ、受けたい講座です。

株式会社リクルートキャリアで中途求人広告媒体の営業を担当。関西の中小企業の社長、役員、採用担当者に向けて、広告媒体を通じた採用活動の提案を行っている。企業の事業計画から逆算して採用ターゲットを明確化し、求職者の心を動かすような企業の魅力を伝える原稿をどのように作成するか試行錯誤する日々。



# まだまだある！ 起業がテーマの講座やイベント



## アントレプレナー研究会

アントレプレナー育成を目的に、関西学院大学出身のIPO社長やアントレプレナー教育を担当する教員を中心として、東京丸の内キャンパスに設立されました。企画責任者は、村田治学長と岡本泰彦ライク株式会社代表取締役社長兼グループCEO・関西学院大学フェロー。

※Initial Public Offeringの略で、日本語で「新規公開株式」や「新規上場株式」と表す。



## 正課授業「ベンチャービジネス創成」

「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」入門フェーズに位置する講座。アントレプレナーシップ醸成を目的に関西学院大学出身IPO社長7人が非常勤講師として授業を行い、生き方や発想・行動力、ビジネスモデルや競争優位性、組織運営やネットワーキングなどについても学べます。国際学部専門科目ですが、全学部の学生が履修可能。



## KGプログラミングアカデミー

3・4年生に登場する長安成暉さん(商学部4年生)が、新規事業立ち上げを目指す文系学生を対象に、昨年度初めて開いたプログラミング講座。昨年度はフィールドワークによる課題発見、課題解決のためのビジネスプランの考案、プログラミングによるアイデアの具現化、商品を導入してもらうための資料作りや提案方法の習得を目的に行われました。

## Kwansei Gakuin PITCH CONTEST

「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」修了生やKGビジネスプランコンテスト最優秀賞・優秀賞受賞者、Hult Prize関西学院大学代表チームなどが関西学院大学出身IPO社長の前で、自身の製品やサービス、アイデアなどを紹介する「ピッチ」を行うイベント。

※世界的に注目を集める学生対象のビジネスコンテスト。テーマとして出された社会課題を解決するための事業プランを立案する。



## 関西学院ベンチャー新月会

アントレプレナー研究会メンバーを中心に、同窓起業家間の交流や起業を志す者への支援を通じて関西学院発アントレプレナーの育成に寄与すべく活動しています。会長はライク株式会社の岡本泰彦社長。4月下旬から同窓会の公認団体として活動予定です。





◎2020年度特別連載企画  
次代を担うあなたへ。  
オリックス株式会社 シニア・チエアマン 宮内 義彦さん

さまざまな分野で活躍する卒業生のメッセージや現在の取り組みなどをインタビュー形式で紹介します。本年度は特別連載企画として、オリックス株式会社 シニア・チエアマンの宮内義彦さんのお話を掲載します。第1回は「学生時代の学びと留学経験から得たもの」について語っていただきました。

## 世界を相手にやっていく 覚悟があるならば、 自分の目で世界を見てほしい。

### 宮内 義彦

1935年生まれ、神戸市出身。関西学院大学商学部卒業、ワシントン大学経営学部大学院でMBA取得後、日綿実業（現在の双日）に就職。64年にオリエン・リース（現オリックス）に入社。社長室長、取締役などを経て、80年に代表取締役社長・グループCEOに就任。2014年代表執行役会長、グループCEOを退任し、シニア・チエアマンに就任。

### 全てが新鮮な経験 関西学院の新制中学部で レベルの高い教育

関西学院中学部に入学したのは、第二次世界大戦後の1948年です。前年の学制改革の実施により6年間だった義務教育が9年間に延長され、いわゆる「6・3・3・4」の教育が始まった頃でした。学制改革に伴い、関西学院中学部は英国のパブリックスクールのような、関西を代表する中学部を指すそうと矢内正一・中学部長のもと新制中学部教育が始まっています。阪神間の優秀な生徒たちが集

まるようになり、良い先生のもとで優秀な同級生たちとレベルの高い教育を受けることができ、全てが新鮮な経験でした。

戦時中は田舎（兵庫県佐用町）に疎開しており、神戸に帰るにも帰れないので、小学校はそのまま疎開先で過ごしました。成績は常に上位の「お山の大将」でしたが、中学部に入ると、ピリから数えた方が早いくらいでした。厳しい学校でしたので、上級生にも同級生にも落第する者がいて一生懸命勉強しました。また、敗戦直後だったので英語教育に力を入れており、ABCを習う前に外国人の先生

から英会話を学んだという強烈な印象があります。そういう意味で、中学部は当時、傑出した教育をしていたと思います。

### 肺結核を患い休学 何もできない状況で 「読書」に没頭

院で英語を学びました。中学部の頃から所属していたグリーククラブも面白かったので、英語もグリーも頑張りたいと思っていました。全てを全力で打ち込むには時間が足りず、スケジュールは朝から晩までみっちりでした。厳しくも充実した大学生活でした。

高校、大学と受験しなくてよいという余裕はありましたが、その分、「何かしないといけない」という思いがあり、英語学習に重点的に取り組みました。高校生の頃から外国人の先生をつけてもらいましたし、大学生になると、大学の授業に加えて神戸にあるパルモア学

しかし、無理がたたつたと言えばかっこいいのかもしれませんが、2年生の冬に結核を患い、半年間の自宅療養を余儀なくされました。グリーククラブもパルモア学院での英語学習もやめなければならず、全てをやり切ることができなかつたのは非常に残念でした。療養中



一番下の列の左から6番目、眼鏡をかけているのが宮内さん

は開き直って、音楽を聞いたり本を読んだりしました。あの頃の読書量はかなりのものでした。それまで読むことができなかったヨーロッパの作家の長い小説などの大著も読みました。親しい友人がいたので、講義ノートを貸してもらって病床で勉強もできました。授業には行けませんでした。テストではノートを貸してくれた友人よりも良い点を取り、成績も良くなっていました。おかげで落第せずになりました。

結核を患った時は、さすがに「まづいな」と思いましたが、後になつてみれば、その半年あまりが自分の興味についてじっくりと考え、学ぶことができた貴重な時間でした。「何もできなくなってしまう状況」というのは考え方によっては面白いのかもしれない。起きてしまったことはしょうがない。逆境と考えるような状況でも、自分にできることをやろうと、それが当時は「読書」だったわけですが、それに打ち込もうという思いでした。

### 議論では誰よりも早く発言 世界は広いと知った 留学経験

関西学院大学卒業後は米国のワシントン大学の大学院へ経営学を学びに行きました。「ビジネススクール」という言葉もなかった時代です。当時は、日本人が簡単に留学できる時代ではありません。基本的には、特別なつながりがあるか、政府の派遣によってしか海外に行くことはできませんでしたが、戦前から海外商社に勤めていた父親のつながりで幸運にも留学することができました。

米国のクラスの中で、私は最も若く、唯一のアジア出身の留学生でした。他の国からの留学生は1、2名だったと思います。その他の多くは朝鮮戦争から帰って、政府から補助を受けて学び直しをする軍人や、社会でのビジネス経験がある人たちでした。今のビジネススクールの様子とはずいぶん違っていたと思います。米国の生活も知らず、ビジネス経験もない私にとつて、授業で議論される内容はよく分からないものばかりで、議論が進んでしまうと英語が日本語かということは関係なく、意見を述べ余地がありませんでした。しかし、黙っているわけにもいきませんので、そういう場面では誰よりも早く発言することを心掛けました。発言すれば1点、良い発言をすれば5点という具合に評価がされるので、とにかく発言しよう。自分なりに考えた工夫でした。

留学で得たものは多くありますが、何より「世界は広い」ということが分かりました。最近では「日本を出たくない」と言う若い方がいらつしゃると聞きます。現在の世界の人口は約75億人ですが、日本の人口はそのうちたったの1億2500万人程度です。これは世界人口のうち、たったの1・7%程度です。簡単に言えば、1・7%の世界だけで生きていくのかということ。75億人を相手に人生設計をするのか、1億人強の中で人生設計をするのかということ、大学で学ぶ人は問われていると思います。世界を相手にやっていると覚悟があるのであれば、ぜひ日本を出て、世界を自分の目で見てほしい。地球なんて小さいもので、日本はそのごくごく一部に過ぎないのですから。

#### 推薦図書

### 「文明の衝突」

**国** 同士の対立を、自由主義や共産主義といったイデオロギーの対立ではなく、地域特有の文明の対立という観点から見てるのが新しく面白い。文明という区切りで世界を見ることを教えられました。



サミュエル・ハンチントン / 集英社

(今回は、7月発行予定の268号に掲載します。)

## ストリートチルドレンの生活改善のため ダンスを通じた支援の仕組みの確立を

2019年11月、西宮市でダンスイベント「マジREAL」を開催。フィリピンの元ストリートチルドレンのダンサーと、ストリートダンスを習う日本の子どもたちが踊りを披露し合った。「ダンスをきっかけにストリートチルドレンの生活を脱した彼らと接して、現状を知ってもらいたかった。ダンスで心を通わせる様子を見て、手応えを感じました」と話す。

小学生の時にテレビ番組で見た、フィリピンで路上生活を送る子ども達の姿に衝撃を受けた。「自分にはできないことはないか」と高校生でマレーシアの植林ボランティアに参加し、ビジネスとして途上国を支援することに興味を持った。ソーシャルビジネスを学ぶため、大学は社会起業学を選択。3年生の夏にインターシップでフィリピンのストリートチルドレンの支援団体を訪れたが、そこで必要とされていたのは医療や教育などの専門的なスキルを持つ人。「私は何の役にも立たないと実感しました」

帰国後、一般企業で働きながら模索するうち、大学時代に本格的に始めたストリートダンスのプロと

なつて支援活動に関わることを決意。ダンススタジオの代表に就き経営が軌道に乗った頃、ストリートチルドレンにダンスを教えつつ、それぞれの子どもに必要な教育や医療などの支援につなげている現地のグループを知った。事業としての可能性を感じてコンタクトを取り、手始めに今回のイベントを開いた。「今後も交流を続け現地の活動を周知し、支援の輪を広げたい。さらにダンスを通じて世界のどこからでも援助できる仕組みをつくることのできれば」と先を見据える。



イベント「マジREAL」で、ダンススタジオの生徒と保護者(写真右側)とフィリピンのダンサーがトークディスカッション

01

Naoka Kita

北 尚果さん

2014年人間福祉学部卒





02

Yoshiki Higaki  
**檜垣 圭輝さん**  
 (湊秋作ゼミ(SDGsかるた・クラウドファンディング班長))  
 教育学部4年生

Gen Daicho  
**大長 源さん**  
 (同(ゼミ長))  
 教育学部4年生

## かるた遊びでSDGsを身近に 地球の未来を担う人材の育成を目指す

よりよい世界を目指す国際目標「SDGs(持続可能な開発目標)」。湊秋作・教育学部教授のゼミで環境教育を学ぶ学生18人が、「自分たちもよく知らなかった」というSDGsの考え方を次世代に伝えるため、誰もが楽しみながら理解を深められる「SDGsかるた」作りに挑戦。約10カ月かけて完成させた。

絵札、読み札、解説集で構成され、読み札にはSDGsの17項目ある目標に関連する文章と短い解説。絵札はそれを簡潔に表現している。「かるた遊びを通してSDGsを身近に捉え、具体的な行動に結び付けてもらえれば」と檜垣さん。学校の授業や企業の研修などにも活用できるように、各札に関連する実際の事例などを盛り込んだ詳しい解説集も付けた。

「な 流しっぱなしは良くないはなし」ひ。ピンクは誰の色?自由に自分の好きな色を選びます」など、全44枚の読み札の文章はゼミ生一人ひとりが考案した中から分かりやすい表現や耳に残るユニークさにこだわって選んだ。解説集はSDGs・生物多様性研究センターの연구원など専門家・企業人の監修を得て先

進性、正確性、教材性を高めた。イラストは湊教授の知人であるプロのイラストレーターに依頼。「周囲を巻き込むパートナーシップはSDGsの根幹となる考え方です。他にも動物園や企業の人など、大人の方の力も借りて活動を豊かにできたことは成果の一つ」と大長さんは話す。

現在、SNSを活用し、関西学院同窓会などの応援も得ながら普及を進める。学部の後輩と協力し小学校低学年や幼児に向けた改訂版の作成にも意欲を見せる。



かるたの絵札と読み札。「制作にご協力いただいたSDGs・生物多様性研究センター客員研究員の石原博さんが2月に急逝されました。石原さんの遺志を継ぎ、かるたの普及に努めます」とゼミのメンバー



※4月15日(水)まで印刷・発送資金をクラウドファンディングで募集中。[関西学院大学 SDGsかるた] から応援できます。1口1,000円から支援が可能で、1口4,000円以上の支援でかるたを送ります。

紛争後の社会における  
国際機構、刑事裁判所の  
機能を検証する

※真実委員会…人権または人道違反の侵害行為を調査する非司法的事実調査のための機関。被害者に着目し、真実を明らかにすることを主眼とする。

## 国

家間条約によって設立された国際機構について、法的な側面からアプローチしています。誕生して75年になる国連をはじめ、国家間のルールによりつくられた組織が、活動を続けるうちに機能を発展させながら当初の役割からどのように変化し、逆に国家のルールにどう影響を与えていくのかに着目しています。

10年来続けている研究が、国際社会における移行期正義、*“transitional justice”*です。抑圧的な政権や紛争後の社会が民主的な社会に移行する時期において、過去の人権侵害などを清算する際にいかに正義を追究しているのか。国際的な刑事裁判所や真実委員会での実態から、それらにどのような機能があり、本当に正義を追及できたのかどうか、問題点は何かなどを探っています。

研究対象の国際刑事裁判所（ICC）は、戦争犯罪や人道的な犯罪など重大犯罪を行った個人を国際法に基づいて訴追・処罰する恒久的な組織で、2002年にオランダ・ハーグに設置されました。日本も加盟し

ており、日本人の裁判官もいます。ICCに私が興味を抱いたのは、公判への被害者の参加や賠償の権利の確立など、より被害者に着目している点です。処罰に主眼を置いてきた従来の裁判所と異なり、ICCは被害者への賠償を命じます。これは、裁判所の新しい機能であり、平和

侵害行為に関しては、国の責任よりもむしろ個人に対して処罰が必要であるとの認識が変わってきました。社会の進展、変化を感じます。しかし、それは同時に、国の指導者が行った犯罪行為について個人を裁くことが正しいのか、という議論も生んでおり、難しい問題をはらんでいます。



構築の一環を裁判所が担っていると言えます。

このように、国際社会が個人の犯罪行為を裁くことは、一世紀前には考えられませんでした。国際社会は主権国家体制であり、違法行為が行われた場合は、国の責任が主に問われてきたからです。それが、著しい人権

めぐって、国際法上の権利として認めようと主張するNGOや国々と、反対する先進国等の間で政治的議論が続いています。平和については、人間の直感として、守られるべきものだと誰もが感じられるものでもありません。ただし、権利として主張できるのか。とても興味深いテーマです。

学べば学ぶほどルールの大切さを痛感します。作られることはもちろん、守られることも重要ですし、社会の変化とともに変わることも十分に理解できます。私の研究は解決策を提示するものではなく、論じられている内容を解き明かしていくことです。客観的に物事を提示し、何らかの示唆を与えられればと思っています。

他の研究として、2016年に国連総会で宣言として採択された「平和への権利」に関するものがあります。国連では多数の宣言や原則が作られ、それらが条約や慣習国際法として成立するかどうかに関心が持たれています。「平和への権利」もその一つですが、権利の内容等を

学生の皆さんには、国際法や国際人権に関する学びを通じて「読む、書く、話す」という言語能力を伸ばし、自らの考えをきちんとまとめて他者に伝える能力を身に付けられるように指導しています。学生時代にいろいろなことに挑戦して、持っている能力をより高め、自身を「ブランド化」してほしいと願っています。

### 法学部 望月 康恵 教授

#### Profile Yasue Mochizuki

国際基督教大学教養学部卒業、同大学大学院行政学研究科博士後期課程修了。博士(学術)。2004年に関西学院大学法学部に着任。2007年から現職。専門は国際機構論、国際法。

#### My rare item



#### 故ヨハネ・パウロ2世の署名入り絵はがき

第264代ローマ教皇の故ヨハネ・パウロ2世の署名が入った絵はがきです。イギリスに留学していた1990年代、パチカンと関連のあるコロンビア人の友達に頂きました。額に入れて飾り、ずっと大切にしています。

# Go Global!

中期留学(マウント・アリソン大学)

南 雄太さん(法学部3年生) 留学先 ▶カナダ



い。私の場合、今までやってきたこと全てが日本でのすてきな思い出になっています。カポエイラでは、全ての動きを日本語で説明できなくても、多くのジェスチャーを使うことで表現することができました。

## Q 関西学院大学でどんなことを学んできましたか。

たくさんのことを学んできました。教科書に載っている場所でも実際に足を運ばないと得られない知識があります。レストランで日本語で注文したり、一人で買い物をしたり、ホストファミリーと暮らすことは、それまでの環境と全く違うものです。これは必ずしもアカデミックなスキルとは限りませんが、こうした経験が自分をしなやかな人間にしてくれました。

## Q 好きな日本語を教えてください。

「さんねんですね」をよく使います。文句を言っている人に対してなど、さまざまな状況で使えますし、曖昧な返答をしないといけない時にも役立ちます。私も文句をよく言うので、「残念ですね」と言われます(笑)。



of gestures.

## Q What have you learned from your time at KGU so far?

I've learned a lot from just being in Japan and studying at KGU. Being in Nishinomiya and being able to travel, you can't trade the expertise you get from actually going to the places in the textbooks and ordering food at McDonald's. Having to shop for yourself, ordering from restaurants in a foreign language, adapting to life with a host family in a totally different environment, they aren't academic skills necessarily, but doing those things has made me more resilient as a person.

## Q What's your favorite Japanese expression?

My favorite Japanese expression, or one I use often, is "zannen desu ne." You can apply it to a lot of situations, people like to complain, so it's useful to have something noncommittal to say in response. A lot of people turn it back on me as well, since I like to complain, too (laughs).



1 卒業式での全体写真(後列左から4人目が南さん)



2



3

2 トロント旅行で 3 プリンズエドワード島への旅行で

## 初めての海外は多文化共生社会 積極的に交流を図り英語力がアップ

2019年8月末から12月初旬までの約3カ月半、寮生活をしながら英語や現地の文化を学びました。

関西学院大学の留学プログラムは多彩で、支援も手厚いと聞いていたので、入学前から留学することは決めていました。初めて海外にカナダを選んだのは、癖がなく美しい発音といわれる英語を身に付けたかったのと、多文化共生の国で学んでみたいと思ったからです。授業は一緒に行った関学生14人で受けました。印象に残っているのは、一人一人に与えられた課題について英語で20分間プレゼンテーションする授業です。私の課題は「武器取引」と「少年犯罪」。難しいテーマを英語で調べて発表するのは大変でしたが、ただ英語を学ぶだけでなく、海外と日本では国際的な社会問題の見え方が違うと知ることができました。一番上達したと感じるのはリスニングのスキルです。寮の食堂やラウンジでは現地の学生や他国からの留学生と一緒に



北アメリカ大陸

に食べよう」と声を掛けるなど、積極的に交流するように努めました。初めは全く聞き取れず苦労しましたが、最後の1週間は一人でトロント旅行を楽しめるほどに。失敗を恐れず自らコミュニケーションを取ろうとする積極性も、留学を通して身に付いた力の一つです。

英語は使わなければさび付いてしまいます。留学生の日本語パートナーになるなど、在学中に英語に触れる機会を増やし、将来は海外の人と関わる仕事に就けたいと思っています。



# My favorite KG

シュミット タイソン ケネス  
SCHMIDT TYSON KENNETH さん

カルガリー大学 (University of Calgary)  
交換留学 (Exchange Student)  
カナダ (Canada)

ホストファミリーとの生活など  
さまざまな経験を通じて  
しなやかな人間になりました。



## Q 関西学院大学を選んだ理由は。

日本人学生と話す機会が大いにあると感じたのと、日本語を話す練習になると思いました。今まで学んできた日本語を授業で披露できるのは素晴らしいのですが、ホス

日本人学生や留学生と食事



トファミリーや友人との会話、スーパーなど、異国での生活の中で実際に使うことができるのはそれ以上に楽しいです。学んだことをすぐに生かせるのがうれしいです。

## Q どこに滞在していますか。

西宮北口駅の近くでホストファミリーと暮らしています。ホストファミリーとの生活は何よりも大切で、今回の留学の一番のポイントです。ホストファミリーは3人の子供がいるので、私の周りにはいつもたくさんの方がいて、話もできるし助けてくれます。頼れる人がいることはいいことですね。

## Q 普段の生活はどのような感じですか。

1日に平均二つの授業があり、日本語の授業から始まります。昼食はBIG PAPAでほぼ毎日「かけそば」を食べます。安くておいしくて、いくら食べても飽きません。昼食の後はグローバルラウンジに行って日本語の練習をするのですが、そのまま家に帰ることもあります。冬はこたつが温かいので。平日はこんな感じです。金曜日はカポエイラサークルに参加して、週末は課題を終わらせたなら京都や難波に遊びに行きます。

## Q 関西学院大学で学ぼうと考えている留学生にアドバイス。

冒険家であってください。ここにはたくさんのチャンスがありますが、いつも分かりやすいものではないからです。クラブや課外活動に参加することが大切だと思います。アンテナを高くして、積極的に行動してくださ

## Daily schedule on class days 1日のスケジュール



## Q Why did you choose KGU?

I felt that at Kwansei Gakuin University I'd really get the opportunity to speak with other Japanese students and get a lot of practice in. It's great when you're in your Japanese class and you're able to show off what you've learned, but it's a lot more fun in a foreign country when you're actually using that Japanese in your everyday life, whether it's at the supermarket or with your host family or just with your friends. I like getting to use the new stuff I learn immediately.

## Q Where are you living?

I live with a host family. I'm living near Nishinomiya Kitaguchi, which means I'm a little bit far ... but I wouldn't trade it for the world, because it's definitely been the best part of my trip for me. The nice thing staying with a host family, my host family has three kids, so there's always lots of people to talk to and to get help from. It's just nice to have someone to rely on.

## Q What's your daily schedule?

I start my day off with Japanese classes. My av-

erage course load is about two classes a day, so I get lunch here at Big Papa. Pretty much every day I eat kakesoba. It's cheap and delicious, I can't get enough of it. After lunch, whenever possible I like to go to the Global Lounge to practice speaking Japanese, but sometimes I just go straight home because the kotatsu is really warm in winter. That's my everyday weekday, on Friday I go to capoeira, and on weekends, I go traveling to places like Kyoto or Namba after I've gotten all my homework done.

## Q What advice would you give to exchange students who are thinking about coming to KGU?

Be adventurous because there are a lot of opportunities here, but they're not always immediately apparent. I think it's really important to try to join a club or do extracurricular activities. You have to keep an eye out and push yourself to do those things. Every single one I've done so far has become my new favorite memory of Japan. In capoeira, my Japanese isn't good enough to explain every kind of body motion, but you can get away with using a lot

Moment



**“Mastery for Service”**



# イノベーションの鍵は若者!

毎号テーマを変え、関西学院大学での学びや取り組み、研究成果などを座談会形式で紹介しします。今回のテーマは「地方創生と大学の可能性」。地方と都市部の生産性や経済面の格差がますます広がる中、地域の課題解決に向けた大学の取り組みやイノベーションの鍵を握るとされる若者の育成について話し合いました。



総合政策学部  
角野 幸博 教授

京都大学工学部卒業、同大学大学院工学研究科を経て、大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。2006年から現職。2016～19年はハンスオン・ラーニングセンター長兼務。専門は都市計画、都市デザイン。



経済学部  
小林 伸生 教授

一橋大学社会学部卒業、大阪大学大学院国際公共政策研究科修士課程修了。株式会社野村総合研究所を経て、2002年に関西学院大学経済学部に着任。2009年から現職。専門は産業構造論、地域産業論、中小企業論。



ハンスオン・ラーニングセンター  
木本 浩一 教授

広島大学文学部卒業、同大学大学院社会科学研究科博士後期課程修了。博士(学術)。広島女学院大学学長補佐などを経て、2016年から現職。専門は地理学(森林経営、都市「近代化」論)、主なフィールドはインド。

## 若者が敬遠する地縁、血縁は一方でセーフティーネットにも

**角野** 戦後、過疎過密の同時解消に向けて、国土計画レベルでもさまざまな総合開発計画やグランドデザインが策定されたにもかかわらず、大きなベクトルを変えられないままです。今の時代、地方が持つ課題は何で、それに対する国の政策や各自治体

の施策は的を射たものになっているのでしょうか。意見を伺いたいと思います。

**小林** 政策的にどうこうするのは難しく、内なるモチベーションが湧き起こってこない、地域にとどまり活動するという選択はしにくいのだらうと思います。まず、地域に残りたくとも雇用の場がありません。また、若年世代は地方ならではの地縁、血縁に縛られ過ぎることに忌避感があり、一度は離れたくて出てしまうと、戻る機会がなくなってしまうんです。還流や

に吸収されていく。還流や

UJターン<sup>※</sup>の試みが比較的成りしている自治体は、古くからのしがらみを極力感じさせない仕組みを意識的に持とうとしています。有名な例が徳島県神山町で、若年層が新しい取り組みをする一つの原動力になっています。

**木本** 私自身、「田舎」の出身なのでよく分かりますが、地縁、血縁は片方でセーフティーネットにもなっていて、それがあから戻れる、地元を出なくてもやっていけるということがあります。ただなくせばいいという話にはなかなかありません。是々非々でなく

すかどうかの議論をすると、受け皿が壊れてしまう地域が出てきます。そのあたりをどうしたらいいのか、フィールドワークに行くたびに考えさせられます。

※1…UJターン  
労働者の移住の動きを表す「Uターン」「Jターン」「Iターン」をまとめて称したもの。Uターン:地方から都会に移住した人が再び故郷に移住すること。Jターン:地方から都会に移住した人が、故郷に近い地方都市に移住すること。Iターン:地方から都会に移住した人が故郷とは違う地方に移住すること。



※4…QOL  
Quality of Lifeの略で「生活の質」などと訳される。

※3…インキュベーションオフィス  
起業や創業をするために活動する入居者を支援する施設。

※2…地域おこし協力隊制度  
2009年総務省が制度化。地方への人の流れをつくることを目指し、地方自治体が、都市部の人材を過疎地域や離島などの新たな担い手として受け入れ、地域力の充実・強化を図る取り組み。「若者」「よそ者」「女性」の隊員たちが、新しい感性や刺激を地域に持ち込み、全国各地で活躍中。

## 地方に飛び込み 新しい動きを起こす 地域おこし協力隊

**角野** 都会には若者を引き付ける魅力があり続ける一方で、地方にはいったん都会の空気を吸った若者が戻っていきける受け皿が少ないのが大きな問題だと思えます。そういう中で、通勤に1時間も2時間もかけたくない、仕事だけでなく趣味も楽しみたいといったライフスタイルや価値観の変化から、ふるさとに戻ってもいいかな、ふるさと以外の場所に行ってみようかなといった小さな動きが地域の側に生まれつつあるような気がします。

**小林** 萌芽的な動きはいくつかあり、それを担っているものに地域おこし協力隊制度があります。この制度によって、大都市部の比較的高学歴の若者が地方に飛び込み、新しい動きを起しています。島根県海士町では公立の塾を作り、児童生徒の学力を担保しつつ、子どもたちの将来のキャリアにもプラスに働かせるという事例があります。また、秋田県五城目町は、姉妹提携先の東京都千代田区にサテライトオフィスを設置、町に少しでも興味がある

都市の人を引っ張ってきています。廃校となった小学校を活用したインキュベーションオフィスにはすでに数社が入居し、新しいコミュニティも生まれつつあるようです。QOLが優れていることが浸透し、集積ができて始めている事例は、いくつが出てきています。

**木本** 地域おこし協力隊は、定量的に捉えること、さらに評価することがすごく難しいですね。個人の資質によるところが大きいので、協力隊の機能が明確になれば何が起きるとは言い切れません。島根県でいえば、私は30年ほど前から石見銀山のある地域に関わっています。地元の人たちは世界遺産登録に慎重な人が多く、今ではブームが早く収まってよかったと言っています。ああいうものは劇薬です。体力がない所に投入されると、瞬間的に効果が現れても、それがのちのち問題になります。そういう感覚を石見銀山の人がなぜ持っているのかわかりませんが、それがあれば、多少癖のある協力隊員が入ってもピースとしてうまくはまります。受け皿となる地域の側に受け入れる力があることによって、受け入れられたり、受け入れられたものが生きてくる、ということになります。

## 調査の前に 地域とは何かを しっかりと知る

**角野** 私たちが研究や調査の対象とするのは、人口が数千、数万で、隣町との関係や人のつながりが分かりやすく、ちょっとした刺激が劇薬になってしまいうような小さな所です。それはそれであり興味深いのですが、個人的に気になるのは中核都市、県庁所在地のレベルです。一定の都市教育・文化機能が集まり、ある程度後背圏を持っているような地方都市の構造が危うくなっているように感じます。

**小林** 今、明らかに活力があるのは札幌、仙台、広島、福岡で、経済原理で言うと高次都市機能の活用可能性と人の住みやすさの最大公約数を満たしているのが、人口100万から200万人のこのレベルの都市だろうと思います。では、それ以下のレベルの都市が、周辺の過疎地域などの住民にさまざまなファシリティーを提供する拠点としてどうやって機能していくか、これが次の課題としては重要です。

**角野** 中途半端な都市よりも、私たちがフィールドワークの対象



としている人口数千、数万人規模の地域の方が生き残る可能性があるのかもしれない。そこで暮らしてもいいと思える自然や文化の環境をそれなりに整えることができ、しかもそれが分かりやすい。国土の構造そのものをそういう観点で見ていく必要があるように思います。

学生たちが地域に入る場合、歩いて回れるエリアや、地域の課題がある程度見えている所など勉強しやすい所からスタートします。送り出す際の留意点や課題は何でしょうか。

**木本** 教育プログラムで取り組む時に、地域とは何かをしっかりと知ろうということを強調しておかないと、学生は「過疎問題がありますよね」など問題があらじめ実在するかのように見える

※5…ハンズオン・ラーニングセンター

「キャンパスを出て、社会に学ぶ」をキーコンセプトに、企業や地域、行政などと連携し、「触れる(ハンズオン)」学びを組み込んだ、「インターンシップ」「フィールドワークを中心とした実践型学修プログラム」などを開発・提供。社会と向き合い課題を自ら設定できる思考力・行動力の修得を目指している。



YouTube動画  
ハンズオン・ラーニングセンター  
／社会探究実践演習「朝来・竹田城下町活性化プロジェクト」



取って来たらしいじゃないか」という方向にずれると流れてしまいます。だからフィールドワークの前に、フィールドを「みる」「理解する」ことに取り組みます。それによって、ちゃんと考えることができるようになります。そのプロセスを丁寧にしてあげれば、学生はかなりやれるし大きな可能性を持っているという印象です。

私は地理学が専門なので、地方なのか地域なのか、表現が気になります。地方という言い方はあまりにへりくだっていませんか。

**角野** それはとても重要です。兵庫県では地域創生と言い、絶対に地方とは言いません。

**木本** そこで初めて地域が地域として存在するし、先ほどの都市のレベルの話になるのかなと思います。

### 学部とハンズオン 狙いや手法が異なる 二つの取り組み

**角野** <sup>※5</sup>ハンズオン・ラーニングセンターで木本先生と一緒に体験学

習プログラムに取り組んで思うのは、学部のフィールドワークとは狙いや手法が違うということです。前者は主に1、2年生が現場に入り、自分で課題を発見していく。その過程では地元の方々にも多大なる迷惑をかける可能性があり、それを理解していただいた所になぎます。学部でやる場合は、多少は専門的な知識を持っている3、4年生なので、勉強目的とはいえ、一つでも二つでも地域の役に立つことを考えるように指導しています。しかし、地元の側からすると、そんな違いが分かるはずありません。

**小林** イノベーションが生まれやすいのは前者だろうと思います。まだ何も知らない学生が地域に入って何かを得ていく中で、100人に1人くらいはすごいアイデアを動かし始めるかもしれません。イノベーションが成功するのは「千三三」と言われます。それくらいの確率ではないけれど、素人が入っていくことに意味があり可能性はある。ただ60点、70点の答えを求めるのであれば、確実に後者だと思っています。

**木本** ハンズオン・ラーニングでは、あえて1、2年生中心にしていますが、実際には3、4年生も受講

しています。ゼミで経験して、卒業前にもう一度やりたいという学生もいます。関西学院大学は学部との二本立てでやっていますので、どちらがどうではなく、学部での取り組みとは方向性や特色が違う専門性を持ったプログラムが1年生から準備されており、それがハンズオン・ラーニングだという理解でよいと思います。リテラシーものとは次元が違いますし、そういう自負を持ってプログラムをやっていくべきだと考えています。

**小林** 神山町の人が言っていたのは、少しでもイノベーションが起きるための要諦は「能動的放置」。集めて、かき混ぜて、放置すること。そして一本化は絶対にせず、続けられる人のビジネスモデルだけが残ればいいと。荒っぽいやり方ですが、ハンズオン・ラーニングの学生が何かを感じ取る中でやってみたいと思ったエネルギーを面白がってくれるような地域だと、うまくいくことがあるのではないのでしょうか。

**角野** もう一つの課題は、学生は**毎年入れ替わる学生蓄積をどうやって引き継いでいくか**

毎年入れ替わり、地域は地域としてずっと在り続けることです。地域の側からすると、1年目はとにかく学生が町を歩いてくれるだけで元気になるところから始まり、だんだんと要求水準は上がります。でも、学生はリセットされる。ゼミや研究室では、先輩



がやってきたことを引き継げるかもしれませんが。ハンズオン・ラーニングの場合はどうですか。

**木本** ロングインタビューなどを徹底的に文字に起こして、アーカイブで蓄積しています。4年間で200ページくらいになりました。次の履修生は、それを必ず読んでから現地に行くようにしています。バトンをきちんと渡し



ていくことで、「君、初めてなのに

よく知ってるね」と地域の人に受け入れていただける状況をつくります。そうすると、「関学生がいつも来てくれているし、私たちもできることをやってみよう」という雰囲気がちらほらと出てきました。あとは、誰がどう拾い上げていくか、専門性をどう絡めていくかを考えれば良いと思っています。

### 地方創生の主体は地域自立に向けて 期限を切るのも一案

**小林** 最近、自治体と大学が連携協定を結ぶケースが増えています。それは、学生が入れ替わっても、窓口の教員は継続的に地域の

さまざまな課題解決にコミットしてくれるだろうと期待しているからで、この成り行きを注目しています。というのも、研究者として一つの地域だけに関わり続けられるのかという問題があり、また、継続するが故に客観視できにくくなるであろうと思うからです。地域に深く入ること、いかに冷めた目で客観的に見ながら課題を発見し、提言につなげていくかのバランスを取っていかないと地域のためにならない。なかなか難しいですね。

**角野** 基本的に私たちができるのは、お手伝いであり、刺激を持つていくことです。当たり前ですが、地域創生は地元が主体となつて取り組むべきで、私たちがいつまで関わり続けるべきなのかという問題はあります。

**小林** これまでの地方に対する振興策は、始めるのはいいけれどやめるのが難しいということが常有りました。ある地方に大学や研究室で入っていったことが既定路線化しすぎると、いつまでたつても自走式になりません。最初から年限を切る形もあるのかもしれませんが、「自立的に取り組みが進んでいくように5年間頑張ります。その期間の達成目標

はこれです」と先に決めておけば、互いに緊張感を持って具体的なゴールを目指して活動していけるのではないのでしょうか。

### 地域に飛び込み 足らざるを知ることで 問題意識を持つて学ぶ

**角野** 関西学院大学はハンズオン・ラーニングセンターをはじめ、多彩な取り組みで学生の幅広い学びを応援しています。文理横断教育や複数分野専攻制、最近ではAI活用人材育成プログラムもスタートしました。それらの動きと地域創生をどうつなげたいと思いますか。

**木本** 専門性を追求する学部でのオソドックスなスタイルと、リベラルアーツ教育を含めた横断的なハンズオン・ラーニングのようなプログラム、この両輪で取り組んでいくことが大事だと思えます。1年生だからまだできないのではなく、1年生にもできることがあり、大学4年間で、できることの重心が動いていく。そういう学生を地域に送り出すというのが大学のありべきスタンスだと考えています。だから、ハンズオン・ラーニングでは、地域の方に「まだ1年生なので」と言うのでは

なく、1年生だからできることを堂々と伝えようと指導しています。

**小林** これまでの大学の在り方は、それぞれの学問領域においてレクチャーから積み上げ、だんだんと知的レベルを高めていくというものでした。それがどういう位



置付けなのか分からないから、学生は今一つ身が入らなかった面があるかもしれません。1、2年次に地域に飛び込んでいくことで、「自分はこれだけできないんだ。できるよっになるには何をすればいいんだろう」という、学びにおける積み重ねの必要性に対する動機付けにもなります。強い経験の場を与えることで、自分の足らざ

※7…AI活用人材育成プログラム

AIやデータサイエンス関連の知識を持ち、それらを活用して現実の諸問題を解決できる能力を有する人材を育成することを目的としたプログラム。日本IBMと共同開発し、2019年度から全学部を対象に開講している。

※6…複数分野専攻制

他学部や学部以外のセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を備えた学生を輩出するために設けられた制度。

るを知り、教室での授業などにもより具体的な問題意識を持って取り組むようになるのではと期待が持てます。

## 自らの学部や 学問分野を 位置付けし直そう

**木本** ハンズオンラーニングの学生は学部がばらばらで、法学部もいれば、理工学部応用物理学科もいます。学生には、自分がその学部に入ったことの意味を伝えるよう伝えていきます。広い学びの中で、法学系のところからできること、応用物理でできることなど、自分の学部やディシプリン、専門でやっていることの位置付け直しですね。これは1年生でも3年生でもできます。そうすると、自分でカリキュラムをオーダーできるようにになります。この科目は自分にとってためになるとか、同じ科目でもどの先生に学んだ方がいいとか。自分からオーダーを出せるようになります。カリキュラムが真に生きてくると思います。

**角野** 「関西学院大学のプログラムや教員はバリエーションがあつて、オーダーメイドできるくらいの幅があります」ということです。

**小林** 自らの課題を見つけ、カリキュラムの中でどう学び、どのように指導を仰いでいくことが課題解決に結び付いていくかに気付き、組み立てていけるようになることは、社会に出てからの問題に対するアプローチの予行演習にもなっているのではないのでしょうか。課題を感じさせる場をスタートとして与え、足らざるを知った時には多様な学部や専門性のあるスタッフでカリキュラムを提供する。この体制を学生たちにフルに使いこなしてもらえれば、大学として非常に存在意義があると思います。

## 学生は地方創生の 重要なプレイヤー 取り組みを大学が応援

**角野** 複数分野専攻制も全ての学生が取り組むのは難しい。でも、専門領域の異なる友達をつくることは可能です。一緒に地域に入り、こんなに多様な見方や切り口、アプローチがあると分かった時に、自分で全てはできないけれども、プログラムで出会った他学部の学生に相談することはできます。一人複数専攻ではなく、グループ複数専攻でいい。プロジェクトにはそういう形で向かっていく姿勢も大

事です。

**木本** 協働する、協力する中で初めて自分の力が発揮されるということですね。今は一人一人の力を外から測られることが多いのですが、そういう力の在り方にも気付いてほしいと思います。ハンズオンラーニングのプログラムに参加している3年生などには「君、ゼミもやっているよね」と言葉を掛けます。1年生と比べた時に、なぜこの中で3年生として参加しているのか、何か言えることがあるだろう、ということ。グループワークの中で必ずポジションを意識し、匿名にするなどという言い方をすると、「そうだ、自分は3年生だった」と意識が変わります。

**角野** 地域に関わり、地域という鏡に写すことで自分の立ち位置、グループの構成や関係性を改めて見直すことができます。学生にとって、フィールドに行く意味の一つかもしれません。

**木本** 卒業生には、大学で何をどのように学んだのかを語ることができるようになってほしい。学部の専門はもちろんとして、もう一つこういう学びを身に付けてきましたと、二つ言えないといけないんじゃないか。そういう学生を育

てていくのが本学の大学としての使命であり、役割だと受け止めています。

**角野** 学生は吸収力があつてフットワークが軽くて、物怖じしないという点で、地域創生の重要なプレイヤーになるはず。地域活性化のキーワードと言われる「よ



そ者 若者「バカ者」の要素を全て持っています。そして一番大事なのは、そういう学生たちを大学がしっかりと支えていることです。学生だけを放り出しているわけではなく、関西学院大学全体でそれを応援しているということ。学生に対して、地域に対しても、メッセージとして大いに発信していきたいところです。



## 建築を軸足に 空間的な提案能力で 社会の課題を解決

**木本** 本年度から、ハンス・オン・ラーニングの1科目を神戸三田キャンパスで開講します。神戸三田キャンパスは2021年度から5学部体制となり、角野先生も創設される建築学部の教壇に立たれます。なぜ建築なのか、新たな展開を教えてください。

**角野** 都市政策学科は今後も総合政策学部に残りますので、文理横断の枠の中で都市政策や地域再生を探るというアプローチが消えるわけではありません。建築学部を立ち上げ建築を軸にするのは、政策提案能力に加えて空間的な提案能力を持つ学生、つまり空間の相互関係やボリューム、その結果としての街並みといった空間的リテラシーを理解する学生を育てるためです。こういう地域や場所は何が課題で、解決するにはどういった機能の空間や施設をどれくらいボリュームで用意すべきか、地域の固有性等をアピールするにはどのようなデザインが最適なのかを考えることに軸足を置き、その上で総合的な学問として人文

科学、社会科学なども連携する。そういう学部として動こうとしています。

**小林** 2000年代初頭の工場等制限法の廃止により、首都圏では、郊外にキャンパスを移していた大学が再び山手線内に超高層ビル型キャンパスとなって都心回帰しました。そういう中、時代にあらがう形で神戸三田キャンパスをより活性化し拠点としていくためにここに入れてきた関西学院大学は逆に今、新しいのかもしれませんが。そして、「学」が研究開発や地域との共生の核になっていく。そんな一つのサクセスストーリーをここから発信できれば、うれしいことだと思います。

## 三田市全域を キャンパスに 地域再生のモデルを

**角野** 総合政策はもちろん、理工、生命環境という他学部とネットワークを組んで、地元の三田市にどう関わっていくかを今から考えています。専門領域の異なる学部と地元自治体や住民組織、経済団体が、より深く関わり合えるような仕掛けができればいいなと思っています。

**木本** 神戸三田キャンパスは

フィールドセンターのような位置付けで、三田市のさまざまな施設で授業をする。国際基督教大学が三鷹市と組んで、授業はほとんど三鷹市役所でやっているような感じの、広い意味でのサービースラージングという形はどうですか。オンキャンパスかオフキャンパスかではなく、そもそもキャンパスの概念を取り払うことができれば新しいのではないのでしょうか。

**角野** まさにそれを狙っています。三田市は歴史的市街地もあればニュータウンもあり、中山間地域もあります。フィールドを学ぶための要素は一通りそろっており、三田全域をキャンパスとして捉えたいと考えています。ポーターレスキャンパスです。なおかつ、フィールドワークの場所を求めて北部や南部へ、さらに高速道路ネットワークを活用して岡山や広島へという感じですね。

**小林** ベーツ第4代院長が、移転時の西宮上ヶ原キャンパスを「We have no fence」と表現されました。神戸三田キャンパスは21世紀版の「We have no fence」ですね。

**角野** これからの地域再生の一つの事例として、大学が地域にどう関わっていくかということに

も取り組んでいけるのではないかと考えています。「三田モデル」を確立できるよう、今後さまざまな視点からアドバイスをよろしく願います。



(注) 設置構想中。新設学部の名称は仮称です。学部の名称や概要等は予定であり、今後、変更になる場合があります。



## 体育会 ボクシング部

創部 / 1930年

部員 / 20人

部長 / 前田 洸一郎

練習場所 / 新学生会館2階 ボクシング場

### 過酷な練習と自己管理で 最高のパフォーマンスを

今年で創部90年と、関西学院大学でも長い歴史を有するボクシング部。部員は総勢20人で、他大学に比べて入学後にボクシングを始めた部員が大半を占めますが、関西学生ボクシングリーグ戦の1部常連校である、まさに少数精鋭の部活です。

試合本番で最高のパフォーマンスを発揮するためには、日々の練習が欠かせません。西宮上ヶ原キャンパスのボクシング場を活動拠点に週6日、個人練習と全体練習に熱心に取り組んでいます。主な練習メニューには、仮想の敵に対してパンチを繰り出すシャドーボクシングやサンドバッグを打ち込むバッグラッシュ、相手との距離感の確認を目的に軽い打ち合いをするマスボクシングなどがありま

# KG CLUB

by KGB

昼休みの放送や番組制作などを行っている関西学院大学唯一の放送団体・KGB総部放送局が、多彩な課外活動を紹介します！

KGBの活動は

Twitter→<https://twitter.com/KGBbroadcast>



## Pick up

### グローブ

かつては素手でしたが、拳を保護するために用いられるように。バンデージを巻いた後に装着して固定します。合成皮革製と本革製があり、プロの公式戦は本革製を使用。オンス(oz)で表される重さは階級によって異なり、重い階級では重いグローブを使用してパンチの衝撃とけがの危険性を抑えます。



動画はこちら↓



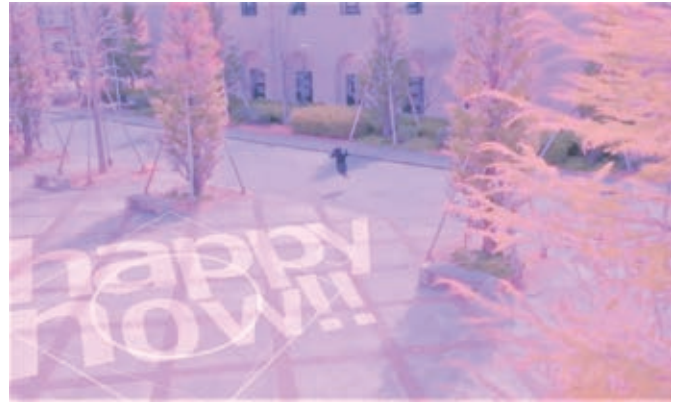
す。室内には大型のミラーが設置されているため、自分のフォームが正確であるかどうかをいつでも確認することができます。また、試合当日の体重超過による失格を防ぐため、練習前に毎行われるミーティングでは、体重を記録することとで自己管理を徹底しています。

昨年度は1部・2部入れ替え戦で勝利し、1部残留を死守。その反省から、1部リーグ3位以上のAクラスを本年度の目標に、過酷なトレーニングに励んでいます。

試合開始のゴングが鳴ると同時に繰り広げられる熱戦。死闘を制しチャンピオンベルトを掲げる選手の姿に魅了されたことがある人は多いはずです。新学期を迎え、心機一転何か新しいことを始めたい人は入部を検討してみてくださいいかがでしょうか。

## 理工学部の寺坂瑠菜さんの2作品がノミネート「第25回学生CGコンテスト」

12月に最終審査があった「第25回学生CGコンテスト(Campus Genius Contest)」のエンターテインメント部門で、寺坂瑠菜さん(理工学部2年生)の2作品「SHADECOR PV 2019」「成れに果てりMV」がノミネートされました。映像やアニメーション、インタラクティブアートなど、新しいメディアやテクノロジーを用いた作品を対象にしたコンテストで、応募330作品の中から、最終審査に進む46作品に選ばれました。



SHADECOR PV  
2019



成れに果てり MV

## 小学生対象に「バスケ×英語」教室 林直也・人間福祉学部教授ゼミとバスケットボール部

人間福祉学部の林直也教授のゼミに所属する学生たちとバスケットボール部の選手たちが2月25日(火)、西宮市立上ヶ原南小学校の全4年生を対象に、バスケットボールと英語の基礎技能を教えるイベント「バスケ de シュートク!!」を同小学校の体育館と教室で開催しました。林ゼミの谷村真由さん(3年生)は「これをきっかけにバスケットと英語を好きになってくれればうれしい」と話しました。



## 国際ボランティアを経験した卒業生11人 支援活動の入門書を出版

在学中に国際ボランティア活動を経験した卒業生11人のグループが、災害被災地でのボランティア活動について書籍「人生をかえるハッピースイッチ～ボランティアが私に教えてくれたこと～」にまとめ、12月に出版しました。実話を基にした小説、被災地に出掛けた際のルポルタージュと感想、ボランティア活動参加時に必要なノウハウを集めたコラムの3部構成で、ボランティア活動の入門書ともいえる内容です。



### 関学カプセル…④

#### C.J.L.ペーツ



初代学長・第4代院長。1910年、カナダ・メソヂスト教会が関西学院の共同経営に参加すると同時に、関西学院に赴任。スクールモットーである“Mastery for Service”を提唱しました。今年は院長就任から100年の節目の年。

## 「第4回聖書動画コンテスト・アワード」 高等部宗教部の動画が優秀賞

聖書に基づいた動画作品を競い合う「第4回聖書動画コンテスト・アワード」が1月13日(月・祝)、アルカディア市ヶ谷私学会館(東京都新宿区)で開催され、世界初となる日本語訳聖書が出来上がるまでの過程を推測し映像化した高等部宗教部の作品「ハジマリニカニコイモノゴザル」が優秀賞に選ばれました。



## 民間監査法人主催の次世代論文コンテスト 商学部の蔦尾亮太さんが優秀賞

1月22日(水)、関西にゆかりのある若い世代を対象にした、有限責任あずさ監査法人主催の「第3回KPMG次世代論文コンテストー関西の未来」で、蔦尾亮太さん(商学部4年生)の論文「データ活用が導く、関西ミュージアム構想」が優秀賞に選ばれました。募集テーマは「世界に選ばれる関西の未来のために」。蔦尾さんの論文は、35点の中から優秀作品5点に選ばれ、大賞、理事長賞に次ぐ優秀賞となりました。



## 教育学部が伊丹市教育委員会と連携協定締結 新設の幼児教育センターでの研究や研修に協力

教育学部は2月19日(水)、兵庫県伊丹市教育委員会と、幼児教育の質の向上を目的にした連携協力協定を締結しました。伊丹市では2020年度、幼児教育センターが開設される予定で、そこで行われる研修や研究などに大学として協力するとともに、大学教員からセンターのアドバイザーに対して指導や助言などとしていく予定です。



## Hankyu Densha×関西学院 コラボグッズ第二弾が発売開始!

読者  
アンケート&  
プレゼント  
30%へ!

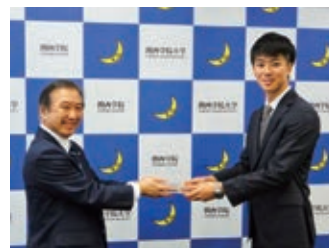
阪急電車グッズ「Hankyu Densha」と関西学院がコラボレーションしたシリーズ第二弾が3月16日(月)から好評発売中です。バッグやポーチなどの新アイテムも加わって、ますます充実したラインアップになりました。キャンパス内生協や「アズナス」、「アズナスexp」、「カラーフィールド」などで販売しています。



※売り切れ次第終了となります。  
あらかじめご了承ください。

## 陸上の多田修平選手に学長賞授与 五輪出場に向け意欲

関西学院大学は、陸上競技短距離で東京オリンピック出場を目指している多田修平選手(2019年法学部卒、住友電工所属)に学長賞を贈ることになり、2月26日(水)、東京丸の内キャンパスで贈呈式を実施。多田選手は「卒業してOBとなった現在も、関西学院大学から表彰していただけるのは非常にうれしいです。オリンピックに向け、しっかり励んでいきたいと思います」と話しました。



### KGグルメ

#### BIG MAMA (西宮上ヶ原キャンパス)

#### 塩ちゃんこ

**中** 身がぎっしり詰まった肉団子と彩り豊かなたっぷり野菜が食欲をそそる「塩ちゃんこ」。肌寒く感じる日には、ほっとするおいしさが心と体を一層温めてくれます。ダイコン、サトイモ、ニンジン、ゴボウなど積極的に取りたい根菜類が豊富で、食事バランスが気になる人にもお薦めの一品です!264円(税込み)。



## 「移民を受け入れるべきか」を議論 特別講演&高校生公開討論会を開催

関西学院大学は1月25日(土)、「日本に移民を受け入れるべきか」をテーマに、ドイツと米国の外交官による特別講演と高校生による公開討論会を西宮上ヶ原キャンパス中央講堂で開催しました。EUインスティテュート関西(神戸大学・関西学院大学・大阪大学)と、兵庫県立の姫路西、長田の両高等学校と関西学院、関西学院千里国際の両高等部4校との共催で、4校の高校生たちは外交官の話に耳を傾けた後、移民を受け入れることの賛否について議論しました。



## #関学卒業生にエールを OB・OGが卒業生に祝福のメッセージ

関西学院大学では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止になった卒業式に代わり、卒業生の門出が少しでも良き思い出の日になるよう、特設サイト「#関学卒業生にエールを」を開設。村田治学長をはじめ、プロ野球選手の近本光司さんやアナウンサーの永島優美さん、陸上競技選手の多田修平さんやロックバンドのキュウソネコカミなど、各界で活躍するOB・OGから寄せられたメッセージ動画などを公開しました。

また、SNS上でもOB・OGや関係者へ「#関学卒業生にエールを」を付けたメッセージ投稿を呼び掛けたところ、数多くの祝福の言葉が集まり、卒業生の門出に花を添えることができました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



## キャンパスで留学生と国際交流 コーヒーアワーに参加しよう

海外から関西学院大学に来ている留学生や教員の方々と楽しく交流する国際交流イベント「コーヒーアワー」が4月16日(木)、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館レセプションホールで開催されます。

毎回200人を超える留学生と関学生が参加し、たくさんの出会いと交流が繰り広げられます。関学生は誰でも自由に参加でき、キャンパスにいながら国際交流を楽しめます。詳細や今後の予定は、国際教育・協力センターへ。

- ▶日時＝4月16日(木)17時15分～18時30分
- ▶場所＝西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール
- ▶参加費＝無料 ▶持ち物＝学生証



## アメリカンフットボール部の試合を応援して 関西学院の雰囲気を感じよう

新入生歓迎イベントとして、アメリカンフットボール部の試合を応援する「Let's go to the Stadium!」を4月25日(土)に神戸市立王子スタジアムで開催します。アメリカンフットボール部ファイターズの試合観戦に加え、クラブ・サークルのパフォーマンスを実施予定。課外活動に熱く取り組む先輩たちが新入生を歓迎します。

キックオフは14時40分。対戦相手は明治大学グリフィンズ。新入生は、入学式で配布するチケットで入場できます。新入生以外もチケットは関学生協などで購入できます。

問い合わせは、スポーツ振興・統括課へ。イベントの詳細は<https://www.kwansei.ac.jp/letsgokg>参照。



※記載しているイベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、延期または中止になる可能性があります。

## 学生定期健康診断を必ず受けましょう

学生定期健康診断を下記の通り実施します。所属のキャンパスで受けてください。健康診断の結果は、実習、留学、就職活動、クラブ活動等で必要になります。受けていない場合、後日、有料で医療機関を受診することになります。1年生のみならず、2・3・4年生、大学院生も必ず受けましょう。

### 西宮聖和キャンパス

教育学部2・3年生、聖和短大2年生 4月2日(木)

教育学部1・4年生、聖和短大1年生、編入生 4月3日(金)

時間 学年、コース、性別により受付時間が決められています。学内掲示、パンフレット、ホームページ等で確認してください。

場所 西宮聖和キャンパス体育館

### 神戸三田キャンパス

女子 4月8日(水)、9日(木)

男子 4月10日(金)、13日(月)

時間 9時30分～11時15分、12時45分～15時45分

場所 神戸三田キャンパス体育館

### 西宮上ヶ原キャンパス

女子 4月8日(水)～14日(火)

男子 4月15日(水)～21日(火)

時間 9時30分～11時15分、12時45分～16時00分

場所 G号館地下

## 読者アンケート & プレゼント

関学ジャーナルのアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方の中から抽選で6名様に「Hankyu Densha×関西学院コラボグッズ(ペンケース(W185<sup>mm</sup>×H80<sup>mm</sup>)、フラットポーチ(W160<sup>mm</sup>×H120<sup>mm</sup>)いずれか一つ)」をプレゼントします。右記QRコードからアンケートにお答えください。締め切りは2020年6月1日(月)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの発送以外では利用いたしません。

Present



Question  
naire

アンケートの回答は  
こちら



## 関西学院大学ならではの奏楽奉仕 チャペルオルガニストを募集します

チャペルオルガニストは、各学部のチャペルでオルガン奏楽の奉仕をする学生オルガニストのことです。関西学院のキリスト教主義教育において重要な役割を果たしています。採用学生は4年間、専門のオルガン講師に、学内のパイプオルガンで個人レッスンを受けることができます。また、春のコンサートや秋の発表会など日頃の練習の成果を披露する場もあります。関西学院大学ならではの奉仕活動に奮ってご応募ください。またスプリング・コンサートも開催します。ぜひご来場ください。



### チャペルオルガニスト募集

▶応募期間=4月1日(水)～23日(木)

▶オーディション実施日・場所=4月25日(土)

吉岡記念館2階 研修室1(西宮上ヶ原キャンパス)※時間予約制(1人約10分間)

▶募集要項・応募用紙の入手方法

①ホームページ…関西学院大学ホームページ([https://www.kwansei.ac.jp/c\\_christian/news/detail/280](https://www.kwansei.ac.jp/c_christian/news/detail/280))からダウンロードできます(QRコードからもアクセス可能)。

②電子メール…organist@kwansei.ac.jpに所属学部があるキャンパス名を書いたメールを送信してください。募集要項と応募用紙を添付して返信します(添付ファイルが受信可能なメールアドレスから送ってください)。

③事務室…宗教センター(吉岡記念館1階)、西宮聖和キャンパス事務室教育学部担当(1号館1階)、神戸三田キャンパス事務室(アカデミックコモンズ1階)で配布しています。

### 説明会

▶日時=4月15日(水)、17日(金) 12時50分～13時20分

▶場所=西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

スプリング・コンサート ※入場無料

▶日時=4月14日(火)、16日(木) 12時50分～13時25分

▶場所=西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

問い合わせ・資料請求は、宗教センター(TEL0798-54-6018、organist@kwansei.ac.jp)へ。神戸三田、西宮聖和両キャンパスも同じです。

# 数字でみる関学

関西学院大学では、さまざまなSNSを通して大学のニュースや風景、学生の学びや日常などを発信しています。大学公式SNSに関する数字を紹介します。

## 関西学院大学の公式SNS

※フォロワーなどの数字は2020年3月1日現在、最優秀いね数や最多ツイート数は過去2年間のものです。



Twitter

フォロワー: **24,459**  
最多リツイート数: **384**



イベント情報やニュースを発信しています。ツイートを見たらぜひリツイートしてください!



YouTube



キャンパスライフや学生の学びなどを映像で配信しています。チャンネル登録をお願いします!

チャンネル登録者数: **2,740**

動画数: **812**

最多再生回数: **22,800**

2019年7月1日  
2分で見ると関西学院大学



Instagram



キャンパス風景や学生の日常を写真で紹介しています。在学生の皆さんにモデルをお願いすることがあるかもしれません!

2020年1月8日  
アメリカンフットボール部  
鳥内秀晃前監督の  
#KGスナップショット

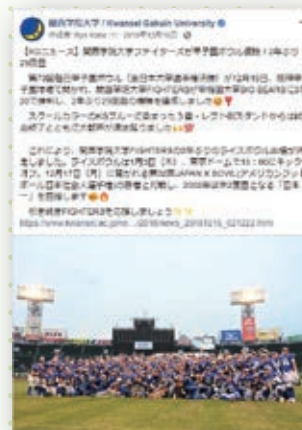
フォロワー: **12,655**  
最優秀いね数: **1,868**



Facebook

ページいいね数: **51,178**  
最優秀いね数: **2,941**

2018年12月16日  
アメリカンフットボール部が2年ぶり29回目の「甲子園ボウル」優勝



ニュースやキャンパス風景などを発信しています。特に卒業生の方から多くのコメントを頂いています。







## 経済制裁下で産業強化、4年ぶりのモスクワの変化に驚き



モスクワ中心部。散歩好きのロシア人は水点下でも街歩きを楽しみます



ロシア地図を背に。広大な土地と可能性を前に負けていけないという気持ちになります

昨秋よりロシアのモスクワに駐在し、旧ソ連圏の戦略企画、事業計画策定、人事等の施策実行に取り組んでいます。

4年ぶりのモスクワで、大変驚いたことがあります。前回はソチ五輪の盛り上がりからのウクライナ政変・クリミア併合、これに欧米が経済制裁という形で反応し、事業環境としては将来の見通しが立ちづらくなった時期でした。それが今回来てみると、地下鉄は一回り拡大、中心部はイルミネーションできらびやかに。接客サービスが向上、国産牛・シーフードも大変おいしくなっているのです。一つはサッカーW杯効果と言われます。集中的な投資で市の観光収入も増えました。しかし、制裁下でロシア人が自国の産業強化に本気になった結果でもあるのではと感じます。

欧州的な論理的思考とアジア的なウエットな人間関係。親日で、懐に入ると非常に温かい。そんな彼らに対し、われわれが「おそロシア」「フィルターをはがし冷静に付き合う」ことで、巨大な隣人との関係が一步前進するかもしれません。

学生時代は国際関係の授業とボランティア活動での実践を通じ、熱い思いだけでなく、常に学び、技を磨き、プロの自覚を持って働くこと。『Master for Service』が大切であるとたたき込まれた4年間で。社会に出てからも勉強すべきことが多くめげそうにもなりますが、この教えが支えになっています。また在学中に得た仲間たちと奇遇にも同時期に海外駐在となり、現在月1回Skypeで互いの国や仕事について熱く語り合っています。在学生の皆さんには、ぜひ仲間と思いきり切磋琢磨し、生涯の友を見つけていただきたいと思います。一生の財産になります。

## 協定校紹介

### 国立研究大学高等経済学院 National Research University Higher School of Economics

国立研究大学高等経済学院は2019年4月に協定を締結したロシアで初めての協定校です。ヨーロッパの文化と融合した美しい街並みに世界遺産の建物が立ち並び、ロシア北西部のサンクトペテルブルク、首都モスクワ、ニジニ・ノヴゴロド、ペルミに4つのキャンパスがあります。

設立当初の1992年は経済学院でしたが、その後、総合大学に昇格。2009年にはロシア政府から優れた国立研究大学として認定され急速に発展しています。国際経済・国際政治学部、ビジネス・マネジメント学部など、社会科学系の分野があります。

2020年QSランキングの政治政策分野、社会科学分野では世界60位以内（ロシア国内では1位）にランクイン。また、2020年Times Higher Education世界総合ランキングでは300位以内にランクインし、国際的に高く評価されている大学です。





大学図書館Webサイトでは、開館日・閉館時間、図書館ニュースの確認やOPAC(蔵書検索)、データベースなどの情報検索ツールを使うことができます。



## 大学図書館を活用しよう!

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学ではレポート作成や研究をする上で多くの図書・資料を使うことが欠かせません。大学図書館の使い方やポイントを紹介します。

- ▶ 大学図書館への入館、図書の貸出には学生証が必要です
- ▶ 学部生は10冊まで14日間借りることができます(参考図書、新聞、雑誌、DVD等は館内で利用できます)
- ▶ 大学図書館は西宮上ヶ原キャンパス大学図書館、西宮聖和キャンパス図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館の3館です(所属キャンパス以外の大学図書館も全て利用できます)
- ▶ OPAC(蔵書検索システム)で図書の検索・予約、取り寄せ、貸出更新ができます
- ▶ 授業のある期間の平日は、8時50分から22時(西宮聖和キャンパス図書館は21時)まで開館しています
- ▶ 大学図書館の利用や図書・資料の探し方などについて、質問・相談できるレファレンスカウンターがあります

- ▶ 履修登録やレポート作成にも使用できるパソコンがあります
- ▶ 西宮上ヶ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館では、館内で使用できるノートパソコンの貸し出しサービスを行っています
- ▶ 電源用コンセントのついた閲覧机もあります
- ▶ 西宮上ヶ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館には、グループでの学習や研究のためのグループ閲覧室があります
- ▶ 学術書だけでなく、小説などの文庫本、旅行ガイド、映画のDVDも所蔵しています
- ▶ コーナーの紹介や新サービスの情報などを、大学図書館Webサイト、公式Twitterでお知らせしています



大学図書館Webサイト  
<https://library.kwansei.ac.jp/>



@KG\_Lib

関西学院大学図書館コミュニケーションキャラクター  
 関学図書館のなかまたち



## 教職員の新刊



### Mindanao' post conflict peace building efforts in transition 1990s

Governance of Moro National Liberation Front (MNLF) and its image and reality of improving the relations of the government and other stake holders

村田俊一 総合政策学部教授 著  
 関西学院大学出版会

この論文・報告書は、筆者のフィリピン国連開発計画事務所の経験に基づき、ミンダナオ島を中心に平和協定に尽力したモロ民族解放戦線(MNLF)のイメージと現実を描写しています。その複雑多岐にわたるモロ民族解放戦線内外の行為主体の利害関係を分析し、さらに、ミンダナオ島のUniqueな紛争問題は、一般的な紛争モデルでは解決できない要素を提示すると同時に、今後のモロ自治政府構築の潜在的な問題点を解き明かします。



軍記物語講座第三巻  
 平和の世は来るか 太平記  
 北村昌幸 文学部教授 共著  
 花鳥社



統計ライブラリー  
 社会科学のためのベイズ統計モデリング  
 石田淳 社会学部教授、  
 清水裕士 社会学部教授 共著  
 朝倉書店



民俗学読本  
 フィールドへのいざない  
 島村恭則 社会学部教授 編著  
 晃洋書房



民法入門ノート  
 渡邊力 法学部教授 編著、瀧久範 法学部教授、  
 大西邦弘 法学部教授 共著  
 法律文化社



メガマーケティングによる市場創造戦略  
 携帯音楽配信サービスの誕生 1999-2016  
 西本章宏 商学部准教授 共著  
 日本評論社



地方財政の歴史を変えた8つの物語  
 小西砂千夫 大学院経済学研究科・  
 人間福祉学部教授 著  
 日本加除出版



乳幼児 教育・保育シリーズ  
 子ども家庭支援論  
 橋本祐子 教育学部教授 編著、  
 波田瑩英治 聖和短期大学准教授 共著  
 光生館



問答式  
 法人税事例選集  
 西尾宇一郎 経営戦略研究科教授 共著  
 清文社

※本データは、これらの書籍が刊行された当時のものです。※これらの図書の多くは、大学図書館で貸し出しています。

## 聖書に聞く



院長 舟木 讓

メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。  
また、罪の赦しを得させる悔い改めが、  
その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。

ルカによる福音書 24章46-47節

## 今

回の聖書箇所は復活したイエスが、生前の弟子たちに語られた言葉の一つです。死者の復活という、合理的・理性的には理解しがたい出来事を、現代の私たちがどのように受け止めればよいのでしょうか。その問いを解く鍵が、生前のイエスの活動にあります。

イエスの活動は、当時のユダヤで、権威と権力を持つ人々によって語られていた「正しい答え」に対して根本的な問い直しを迫るものでした。その結果、社会で生き難さを抱えていた人々に対して、違う「正しい答え」があることが示され、真の「正しい答え」によって社会が変わる可能性が示されました。ここに、一部の人々の利益・権力が優先されていた閉塞的な社会を変革できるという希

望が生まれます。

しかし、既得権益の喪失を恐れる「自分ファースト」的な人々により、イエスの命は奪われ、希望は絶望に変わります。ところが、イエスの復活により、その思いは決して途絶えることなく、今の誤った「正しい答え」を変える可能性と力は永遠に受け継がれ存続するのだ、ということが力強く示されたと言えます。現代も「自分ファースト」的な「正しい答え」を振りかざす人々によって多くの人々が傷つけられ、その尊厳と存在を踏みにじられている現状があります。それに対して、イエスの復活で示された、「人々を不幸にする『答え』は変えられない」という希望を胸に、新しく始まった年度を真の「正しい答え」の実現に向けて、共に歩みましょう。

## 編集後記

人生100年といわれる今の時代。長く続く人生をより豊かなものにできるよう、学生時代からさまざまな挑戦をして自分だけの経験を手にし、これからの自分を支える学びの基礎力を身に付けてほしい—そんな思いで今回の特集を企画しました。と、熱い思いを書いてみたり…。皆さまの学生生活における何かのきっかけになれば幸いです!(りよ)



### 関西学院大学 Instagram

関西学院大学のキャンパスや授業風景、学生の活動の様子など、さまざまな瞬間を写真や動画で紹介! 友達が出ているかも。



アカウント名 / kwanseigakuinuniversity



## Kwansei Grand Challenge 2039

関西学院は、創立150周年を迎える2039年を見据え、関西学院のありたい姿・あるべき姿を示した「超長期ビジョン」と、それを実現するための前半10年間(2018-2027年)の方向性を示した「長期戦略」からなる将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」を2018年に策定しました。現在は、これに基づく「中期総合経営計画」で、さまざまな施策が進んでいます。詳細は下記Webサイトをご覧ください。

<https://kgc2039.jp/>

関西学院大学の  
受験生向けの情報が  
充実しています！



## 高校生特設サイト

関西学院大学でのマナビと関学生のホンネを紹介しています。

- 学べること紹介
- 同郷の後輩へ
- 教員の研究紹介 など



## 関西学院大学 公式SNS



LINE



入試情報をお届け。今すぐ友達登録！最新情報や入試情報などさまざまな情報をお届けします。

「友だち追加」から「ID検索」を選択して「@kwansei」で検索



Instagram



学生たちの普段の様子やキャンパス風景を発信します。



Twitter



関西学院大学のニュースを中心に配信しています。



関西学院大学  
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY